

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年2月14日）

2月14日はバレンタインデー。世の中はなんだかウキウキしているように見えます。今回のメインの活動は、バレンタインということで、「チーム北リアス」から野田村の方々へチョコレートを贈ることでした。そのほか、写真班の活動もありました。集まったチーム北リアスの面々は、関西から、大阪大学・関西学院大学の教員（渥美先生、関先生）と10人の学生たち、それにチーム・オール弘前（市民6人、学生13人、教員2人）です。



今回のメンバー。2月14日だって活動するぜ！



お渡ししたチョコレート。中に手書きのメッセージが入っているのが分かるかな

用意されたチョコレートは300個。山のようなチョコレートを見た時には、あまりの可愛さに声が上がります。赤いハートいっぱいの包みにチョコやクッキーがつまっていて、手書きのメッセージも添えられています。これは、関西組が13日から宿泊して、メッセージカードを手書きで書いたり、チョコレートのラッピングをしたりして、準備をしてくださっていたおかげです。弘前から1年生の学生事務局・川村さんが、一人で電車を乗り継いで前日入りして、手伝ってくれていました。

お渡しするのは、すべての仮設住宅、役場、社会福祉協議会、お世話になっている商店。常日頃の野田村のみなさんへの感謝と、久しぶりの方々へのご挨拶も兼ねて、いつになく大規模なプレゼント企画です。みんなで手分けして、お届けして行きました。

さらに今回は、いわゆる「みなし仮設」と呼ばれている、新しく作られた仮設住宅以外の、村内外にある既存のアパートや貸家にお住まいの被災された方々へもチョコレートをお届けしました。村内に約60軒、久慈市内や普代村に約20軒があるそうです。これまで私たちの活動は、どうしても新設の仮設住宅のみなさんのところにうかがうことが多く、みなし仮設の方々との交流はごく限られていました。今回は、渥美先生らが調整に尽力してくださり、社会福祉協議会の全面的なご協力を仰ぎ、支援員の方々が村内外のみなし仮設を巡回する活動に、はじめて同行させていただきました。



今回の活動の陣頭指揮をとる関西学院大学の関先生。チーム北リアスの事務所にて。



チョコレートを持って、そろそろ仮設住宅へ出発。

みなし仮設班になった人によると、あるお宅では、奥さんに会ったそうです。最近どうお過ごしですかとたずねると、「こたつでじっとしている…涙出てくるときもある。でも、こうして来てくれると、ほんとううれしい。…なに返せばいいのかと思ったり」。息子さん夫婦が近くにお住まいで、お孫さんも訪ねて来るそうですが、つらい様子もうかがえます。また、ひとり親家庭のお宅では、お子さんがインフルエンザなどたて続けに病気になり、離れた病院まで行かないといけなくて大変だったそうです。

帰りのバスでも、「みなし仮設の方がこんなもらうの初めてでうれしい、と言ってくれた」「みなし仮設には支援や物資がゆきわたっていないのが分かった」という感想がありました。今回の活動を機に、各機関と連携しつつ、みなし仮設への訪問やイベント等の情報提供を始めることができるように、つながることができるように、考えて行きたいと思います。



仮設住宅を一軒一軒訪問して、お渡しする。



生涯学習センターも、改修工事に入っていました。

そのほか、帰りのバスでは、次のような感想もありました。「工事や働きに行っていて、留守の家が多かったようだ」「関西学院大学の人が写真を見ながら対応していたのが、とても親身で大事なことだと思った」「弘前の雪とうろう祭りに行ったばかり、という人が

とても喜んでくれて、弘前の方が大好きだと言ってくさった。弘前で足を伸ばして寝ることができたのがよかった、とおっしゃっていて、考えさせられた」「笑顔をもらうことができました。バレンタインのチョコです、と言うと、ばあーっと笑顔になってくださって、とてもうれしかった。今回で3回目ですが、今日が一番交流ができた日でした」

最後に、今回もまた野田村の方々から、いろいろなものを頂戴してしまいました。南部君が懇意にしてもらっているお店からは、お菓子やドリンクの差し入れを。おなじみ米田やすさんからは、お昼のおぼろ豆腐を全部食べきれなかったのを、持ち帰れるように準備してもらいました。

また、たくさんのおいしいものをいただきました。このおいしいものは、決意のおいしいです。渥美先生によると、泉沢地区の被災されたおいしい農家の方が、おいしいづくりを再開することを決意されたそうです。それをたくさんおすそ分けしていただきました。帰宅後、水炊きの鍋に入れて賞味したところ、味が濃くて、歯ごたえがあって、たいへんおいしかったです。弘前でおいしいものを使うことを考えてほしい、と渥美先生から宿題をいただいていますので、みなさん、おいしいものを使うアイデアを絶賛募集中です！

(人文学部教員 山口恵子)